

ここに工場ができたわけ

三島町は、まわりが山にかこまれ、春には山さい、秋にはきのことしぜんのきんぶつにめぐまれています。それをげんりょうとして、ここに工場ができ加工してだすため、高く売ることができるようになりました。

また、町の人のはたらく所がふえ、農家のしゅう入もふえてきました。

《げんりょうのそう庫》



きのこのそう庫（れいぞう庫）



（マイナス十八度のれいとう庫）
山さいのそう庫



きのこの床づくり



床を入れるそう庫
（六十日ほどばいようする）